



JAPAN FOUNDATION

国際交流基金

報道関係各位
プレスリリース

2018年1月18日

No. 2017-061-1/1

イ ス ヒョン 新大久保駅で亡くなった李秀賢氏の遺志について

李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修

1月25日より韓国の高校生20名が来日

国際交流基金関西国際センターでは、2001年にJR新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして尊い命を落とした、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志について、将来の日韓の架け橋を目指す韓国の高校生を2002年から毎年招へいしています。



写真：JR新大久保駅での追悼・献花



赤門会日本語学校訪問（昨年の研修生）

研修開始から17年目を迎える本年も、未来の日韓友好を担う希望に溢れた20名の研修生が1月25日に来日し、15日間の研修に臨みます。

1月26日には、新大久保駅で追悼・献花を行います。つきましては、メディアの皆様におかれましては、この機会にぜひ本事業をご取材いただきたくお願い申し上げます。

研修中は、この他、故人の母校である赤門会日本語学校訪問や同氏のドキュメンタリー映画「かけはし」を鑑賞し、李秀賢氏の功績を顧みると同時に、将来の日韓関係について若者の視点から考える機会とします。また関西では、大阪府立佐野高校や立命館大学で日本の若者と交流し、日本社会・文化への理解を深めます。

今回で第17回目を迎える本研修は、これまでに約300名の修了生を輩出してきました。中には、本研修をきっかけにさらに日本との結びつきを強くしたいとの思いを持つ修了生も多く、大学で日本関係学科に進んだり、日本での留学や就職をしたりといったことを実現させる等、両国の架け橋となって活躍しています。

記

【期 間】 2018年1月25日（木）～2月8日（木）の15日間 ※1月25日～27日は東京滞在

【主要日程】 1月26日 JR新大久保駅での追悼・献花（東京）

赤門会日本語学校 訪問（東京）

2月1日 立命館大学国際関係学部との交流（京都）

2月2日 大阪府立佐野高校との交流（大阪）

2月3日 駐大阪韓国文化院 訪問（大阪）

【協力機関】 学校法人新井学園 赤門会日本語学校、特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会、立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校、駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院

訪問日程の詳細、ご取材については、お問い合わせください。（訪問先には公共の施設も含まれるため、ご取材の際には事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。）

以上

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金関西国際センター 教育事業チーム（担当：奥村、森山）

Tel: 072-490-2601 / E-mail: Junko_Okumura@jpf.go.jp、Fumiko_Moriyama@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター（担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp